

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	社会復帰訓練所	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎聖風福祉会 ・代表者名 佐々木 元行 ・住所 川崎市川崎区池上新町3-1-8	評価者	障害計画課長
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<利用者数(登録者数)> 就労継続:24人 就労移行:6人 <利用総数> 就労継続:2,450人 就労移行:1,298人 <新規登録> 就労継続:9人 就労移行:5人 <登録取消者> 就労継続:2人 就労移行:5人		
収支実績	収入 就労支援事業活動 3,584,785円 受託加工事業 3,584,785円 福祉事業活動 37,765,317円 自立支援費等 30,296,590円 委託料収入 7,348,000円 (指定管理委託料を含む) 雑収入 120,727円 合計 41,350,102円	支出 就労支援事業支出 3,449,436円 福祉事業活動 35,403,808円 人件費 29,419,193円 事務費 3,775,757円 事業費 1,608,708円 経理区分間繰入金 600,150円 施設整備等支出 488,145円 合計 39,341,389円	収支差額 2,008,713円 ※指定管理料 4,538,000円
サービス向上の取組	・利用者への支援によって、就労移行支援事業では、25年度は、6名が一般企業に、1名がA型事業所に就職し、合計7名が就労に繋がった。 ・利用者の能力に応じて就労への意欲と能力の向上を図るとともに、利用者が継続して長く就労できるように就労定着支援を行う等、幅広いニーズに対応しながら適切な支援を行っている。 ・就労継続、就労移行の支援に加え、悩みを聞くなど日常生活における相談支援や人前で話すことになれるようにする等余暇支援等も継続的に実施しており、利用者の就労へ向けて、総合的な取組みを行っている。		

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・就労継続支援B型事業には24名、就労移行支援事業には6名の登録者数があり、25年度はうち6名が一般企業に、1名がA型事業所に就職し、合計7名を就労に繋げる等、就労支援事業所としての役割を果たしている。 ・精神障害者の特性に応じ、就労のみならず、日常生活相談等の幅広いニーズに対応している。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・安定した給付費収入と効率的な支出を行った結果、経営状態は大変安定している。 ・会計処理について、法人として外部の監査法人による監査を実施しており、適正に会計処理している。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・就労継続支援B型事業については、利用者が生活習慣、働く姿勢、作業技術、社会的スキルやマナーを身に付けられるような支援を行った。 ・就労移行支援事業については、働きたいという利用者の希望と特性を勘案し、就労に必要な知識及び技術を学習した後に、就労後の職場で実践できるように支援した。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・支援職員として必要な知識、技術、倫理を身に付けられるよう、多くの法人研修や外部研修に参加している。 ・日々の利用者の健康状態や生活状況の把握に努めるとともに、緊急時における職員対応の流れを再確認し職員が密に情報共有することで利用者の安全が確保できるようにしている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検や発注により備品を適切に補充するとともに、施設の整理整頓をしている。 ・各種保守、点検について、業務委託により適切に実施されている。 					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・利用者が安心して仕事を続けられるよう日常的に悩みを聞くなど利用者に寄り添った日常生活支援を行っている。
- ・利用者のニーズに合わせた支援計画により質の高い支援を行っている。また、ミーティングでは利用者が中心になった報告形態を取ることで、利用者に自分で考える能力が身につく、人前で話すことに慣れていく等の効果が表れている。
- ・施設の管理も適切になされ、経営状態も良好である。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

--